



生き生きと躍動した1学期 更なる伸長を目指して

校長 東藤 義文

先週、1年生の遠足がありました。その前日の職員室。

「1年生は遠足をとても楽しみにしています。小学校の時からこれまで、様々な行事が制約されてきたので、こんなことに…と思うようなことでも喜んで取り組んでいます。」

そんな話を聞いて、私は純朴な生徒たちとそれを受け止める先生の姿に心温まりました。

この春、コロナウイルス感染症対策は大きな転換期を迎えました。私たちの前に立ちはだかつてきた様々なハードルは低くなり、学校内外で生徒たちが本来もっている生き生きとした姿があふれるようになったことが何よりうれしい1学期でした。

修学旅行や宿泊研修における多様な体験や仲間とふれ合える喜び。観客が戻り、全校が心を一つにして取り組んだ体育祭や中体連では思い切り情熱をぶつけ、躍動する姿が輝いていました。また、賑わいを取り戻した地域行事にも積極的に参加しました。

しかし、アフターコロナの教育活動は途上です。未だマスクを手放せない生徒たち。一旦身にしまった習慣を元に戻すことの難しさを感じます。高校の学校祭では感染の再拡大が見られ、油断できません。また、学校教育のすべてをコロナ前に戻すことなく、時代の流れを見据えた新しい学び、より効果的な教育活動への改善に向けて、精査と試行錯誤を重ねることになります。引き続き、地域・家庭の皆様のご理解をお願いいたします。

さて、私がこの学校に着任して4ヶ月が経ちました。

この間、本校がこれまで培ってきた「安定感」に感心してきました。その元になっているのは学習・生活両面における基本の定着です。穏やかで節度のある生活態度、よく話を聞き、誰もが集中してペンを走らせる学習態度等々。特別なことでなく、当たり前の日常こそが大切であることを痛感します。そして、その底流にある地域・家庭及び校区小学校の教育の確かさを感じ、改めて二つの言葉の意味を噛みしめています。

「人の本性は皆ほとんど同じである。違いが生じるのはそれぞれの習慣によってである。」（孔子）
「人生の特性を決定するのは、日常の小さな事柄であって、偉大な行動ではない。」（カール・ヒルティ）

このような本校の良さを更に高めるための二つのキーワードが、年度初めに掲げた「美点凝視」と「多様な視点」です。

この1学期、自他の良さや個性を見つけ、伸ばすことはできたでしょうか。

人の立場を理解し、仲間と協働する中で見方や考え方を広げることはできたでしょうか。これからも個性を伸ばすために失敗を恐れず挑戦したり、より一層意見を発表したり、交流したりして、切磋琢磨することで、学校での学びをより深いものにしてください。

30日間の夏休みに入ります。様々な期待や目標を抱いているでしょう。暑い日が続くことと思いますが、それに負けることなく、いつでも登校できるように、学校に通っている時と変わらない良い習慣、目標達成に向けた粘り強い日々の積み重ねをお願いします。

そして、何より命を大切に、健康安全で事故のない楽しい夏休みを送ってください。

2学年「宿泊研修」での学び

7月12日（水）・13日（木）、2学年は宿泊研修を実施しました。1日目は、トリックアート美術館やフラワーランドかみふらの、富良野自然塾において、自然や文化にふれ、各研修場所で貴重な体験をしました。宿泊施設のネイパル深川では、集団行動をととして、仲間の良さを発見することができました。2日目の研修場所は、今年3月に開業した、北海道ボールパークFビレッジ。施設内を班ごとに見学し、プロ野球観戦を楽しみました。2日間の充実した研修を通じて、学年内の絆を深め、多くを学ぶことができました。



1学年 炊事遠足

7月14日（金）、延期になっていた遠足（炊事遠足）を、春光台グリーンスポーツ施設において実施し、各班ごとにオリジナルのカレーを作りました。作業を分担しながら、楽しく調理する姿が見られ、どの班のカレーもおいしく仕上がっていました。仲間との交流を深めながら、楽しく遠足を終えることができました。



グリーンコンサート

7月2日（日）、地域のふれ合い行事「グリーンコンサート」が開催されました。本校からは、吹奏楽部とボランティア部が日頃の活動の様子を披露し、集まった地域の方々から大きな拍手を受けました。啓北地区の小学生や地域の方々とはふれ合う、有意義な一時でした。



上川管内代表決定戦より

中連体育大会旭川地区予選を突破し、上川管内代表決定戦に進出した各部の大会が、7日（金）・8日（土）に開催され、各会場で熱戦が繰り広げられました。本校は、野球、男子ソフトテニス（個人）、女子ソフトテニス（団体・個人）、男子卓球（団体）、剣道（個人）が出場し、各部とも大変健闘しました。女子ソフトテニス部は団体戦優勝、さらに、野元よつ葉さん（3-2）・森川智巴さん（3-1）ペアが個人で優勝し、全道大会出場を決めました。保護者の皆様のご声援、ありがとうございました。

【上川管内代表決定戦 結果】

【野球】1回戦 啓北中 0-4 上川・比布

【卓球】団体 予選2位

準決勝 啓北中 1-3 中央中

【剣道】個人

武田 凜香（2-1）2回戦敗退

石上華乃音（2-2）2回戦敗退

【男子ソフトテニス】

三宮和也（3-1）・大江龍弥（3-2）

ペア ベスト16

【女子ソフトテニス】団体 予選1位



※ 飛弾野えみるさん(水泳)は全道大会から出場します。

女子ソフトテニス部全道へ

上川代表決定戦において、女子ソフトテニス部が団体戦で優勝。個人では野元・森川ペアが優勝し、7月29日（土）・30日（日）に帯広市で開催される全道大会への出場が決定しました。全国出場を目指す戦いがいよいよ始まります。皆様のご声援、よろしくお願い申し上げます。



8月行事予定

8月21日（月）	2学期始業式
22日（火）	けいほく1組 修学旅行 ※24日まで
25日（金）	専門委員会
28日（月）	教育実習 ※9/22まで

19日（水）の参観日は、多数の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。明日から夏休みに入りますが、学校からの緊急連絡は、マチコミメールにてお知らせいたします。なお、ご家庭から学校への緊急連絡は、引き続き「緊急連絡メール」をご活用ください。

※ 新型コロナウイルス陽性となった場合もご連絡ください。 kinkyu@keihoku.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp